

【1 子供が元気に通える学校】

(1)子供が学習に興味関心をもち、基礎・基本の定着を図る。

- ・学習規律の確立を図る。
- ・授業時数を十分に確保する。
- ・分かる、できる授業により基礎基本を定着させる。
- ・主体的・対話的な深い学びを促す授業を推進する。
- ・読書活動の充実を図る。
- ・ICTの活用を図る。
- ・家庭学習を推進する。
- ・アニメを活用した教育を推進する。
- ・オリパラ教育に関して、授業を通して実践する。

(2)豊かな人間性を育てる。

- ・挨拶の定着を図る。
- ・人権教育の推進を図る。
- ・いじめ、不登校等について組織的に取り組む。
- ・特別な教科道徳の充実を図る。
- ・小中一貫教育の充実を図る。

(3)体力の向上を図る。

- ・健康な体への意識向上と体力向上を図る。
- ・早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を定着させる。
- ・食育への関心をもたせる。
- ・保健指導や安全指導を推進する。

教育目標<目指す児童像>

○ よく考える子供

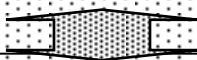
- ・学習意欲の向上、基礎・基本的な知識や技能の習得、これらを活用する思考力・判断力・表現力などの総合的な学力の育成に努める。

○ 仲よくする子供

- ・豊かな情操とみずみずしい感性を育み、人と協力して、差別やいじめを許さない心の教育を推進する。

○ 健康な子供

- ・たくましく生きる基盤として心と体の健康を大切に、知・徳・体の調和のとれた子供の育成に努める。



目指す学校像

- 1 子供が元気に通える学校
- 2 保護者や地域から信頼される学校
- 3 教職員が協働できる学校

挨拶あふれる石東小

【2 保護者や地域から信頼される学校】

(1)情報の積極的な発信

- ・学校公開、行事等の保護者参観
- ・学校だより、学年だよりやHP等での発信を行う。

(2)相談体制の構築

- ・スクールカウンセラー、心の相談員との連携を図る。
- ・ふたばルームとの連携を図る。

(3)地域とのかかわり

- ・学校・地域連携事業を推進する。
- ・子供たちの地域への愛着を育む。
- ・PTAとの連携を図る。

(4)安全・安心な学校生活

- ・危機管理の徹底を図る。
- ・学校設備の安全対策を行う。



【3 教職員が協働できる学校】

(1)教職員で共有した生活指導

- ・4つの「あ」（挨拶・集まり・後始末・安全）の徹底。
- ・子供の実態把握と対応の検討を行う。

(2)報告、連絡、相談

- ・学校全体で対応する。

(3)教員の資質向上

- ・校内研究の推進を図る。
- ・教育公務員としての自覚をもつ。

- ・登校時間 8時5分～8時15分に門に入る（子供の安全確保）
- ・生活時程を全校一斉の中休み、清掃、昼休み（体を十分に動かせる時間の確保）
- ・令和5年度：展覧会 令和6年度：学芸会（学習発表会） 令和7年度：音楽会の3サイクル（表現する場を多様にして、子供が活躍できる場を設定）
- ・毎年全学年全学級編成を実施（人間関係を固定化せず、様々な人と関わる。学年単位で子供たちを見ていく。）
- ・水曜日午前5時間で13：45下校